

飯館村で捕獲したイノシシの測定

田野井慶太郎、内田和幸、土居千代、二瓶直登、広瀬農、菅野宗夫、菅野千恵子、若林一平、田尾陽一



イノシシ解体準備。



ホルマリンも用意します。



とらえられたイノシシ



イノシシ解剖中



採材します。

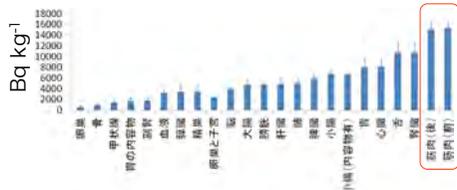


メモとともにサンプルを入れ物へ。

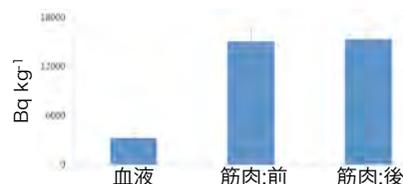
2012年冬 (5頭)

イノシシ No.	成体・若齢	性別	備考
20121125-01	成体	雌	出産未経験
20121125-02	成体	雌	出産未経験、胃のたぐれあり
20121125-03	若齢	雄	
20121125-04	若齢	雄	
20121125-05	若齢	雌	胃潰瘍
20121129-01	成体	雌	出産経験あり
20121129-02	若齢	未確認	

筋肉が最も高濃度

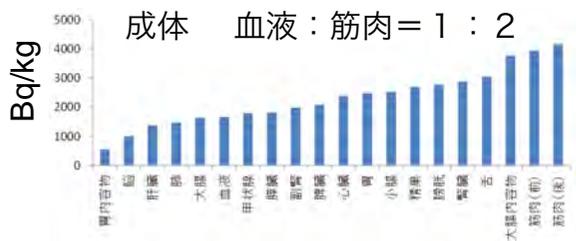
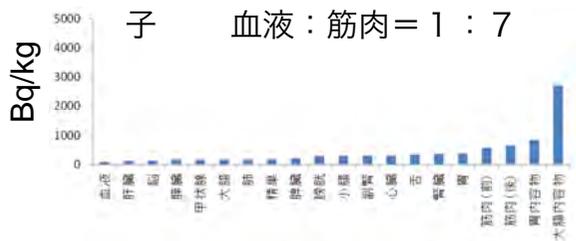


血液：筋肉=1：5



参考：【野生化した牛】
約 1：20から30

2013年冬 (2頭)



- ・この2個体は同一の地域で捕獲されたものであった。(200mぐらゐの距離)
- ・大腸内容物(糞)の濃度はほぼ同一であるが、臓器の放射性セシウム濃度は大きく異なった。
- ・筋肉が最も高かった。
- ・牛と比較すると、筋肉に対する血中濃度の比率が高かった。

実施者

福島県飯館村役場 石井秀徳
 福島県飯館村 菅野宗夫、菅野次男、高橋二夫、山口正、菅野満郎
 福島県飯館村駆除隊 阿部定宜、佐藤孝一
 特定非営利活動法人ふくしま再生の会 田尾陽一 若林一平
 東京大学大学院農学生命科学研究科獣医学病理学研究室 内田和幸、土居千代
 東京大学大学院農学生命科学研究科放射性同位元素施設 田野井慶太郎、二瓶直登、広瀬農、登達也
 東北大学医学系研究科病態臓器構築研究分野 林剛平

問い合わせ：田野井慶太郎 (@keitarotanoi)